

議会改革検討会議報告書

令和3年3月25日

神奈川県議会 議会改革検討会議

当会議において次の事項について検討した結果を、次のとおり報告する。

【検討事項】

- I 議会基本条例の見直し等について
- II 神奈川県議会業務継続計画（議会BCP）の策定について

【検討結果】

I 議会基本条例の見直し等について

(1) 危機的事象への対応について

本検討事項については、令和2年12月4日付け中間報告書で報告したとおりであるが、中間報告以降、神奈川県議会基本条例に大規模な災害その他の緊急事態への県議会としての対応について規定するため、同日付けで、当会議の委員全員が提出者となって、神奈川県議会基本条例の一部を改正する条例案を議長に提出した。

審議の結果は、12月17日の本会議で全会一致で可決、成立し、12月25日に公布、施行されたところである。

(2) 議会ICT化への対応について

一層の推進を図るためには、条例の中に条項を追加することが望ましいとも考えられるが、ICT化の取組を推進することにより、条例に掲げられた県民への情報提供の実現などに十分つながると考えられることから、取組の一層の推進を図ることに重点を置くこととする。(中間報告書のとおり)

(3) 議会バリアフリー化への対応について

一層の推進を図るためには、議会ICT化への対応と同様に、条例化することも考えられるが、バリアフリー化の取組を推進することにより、条例に掲げられた県民参加の推進等につながると考えられることから、取組の一層の推進を図ることに重点を置くこととする。(中間報告書のとおり)

II 神奈川県議会業務継続計画（議会BCP）の策定について

1 趣旨

議会基本条例の一部改正を受け、令和3年1月12日の団長会において、議長から、条例改正に伴う具体的な対応として、神奈川県議会業務継続計画（議会BCP）の策定に向けて当会議で検討するよう依頼された。

当会議では、中間報告書で今後の検討課題とされた事項等も参考に、他の自治体の議会における事例の確認や掲載項目など、令和3年2月10日から3月25日まで、5回にわたり検討を行い、その結果、次のとおり結論を得た。

2 検討結果

当会議において検討した結果、神奈川県議会業務継続計画（議会BCP）（案）については、別添のとおりとすることで決定した。

内容については、自然災害等への対応に加え、今般の新型コロナウイルス感染症に対して本県議会が行った対応も踏まえ、感染症への対応についても盛り込んだ。

まずは策定することを第一に検討を進めたため、項目によっては、より深い議論が必要な項目もあると考えられるが、こうした項目については、今後、運用していく中で必要に応じて見直しを行い、内容を更新していくことが重要である。

なお、神奈川県議会業務継続計画（議会BCP）の策定に関連し、神奈川県議会議員災害等対応必携カードについては、今後、内容を改正する際には、サイズを縮小化したりデジタル化することも含め、携帯の利便性の向上に資するよう検討することが望ましいと考える。